

日時

2023年10月8日(日) 17:30-18:30

会場

第7会場
(東京国際フォーラム ガラス棟6F G602)

第1部

Dry Eye Research Award



オーガナイザー

東医院
渡辺 仁

ドライアイリサーチアワードは、涙液・角膜上皮およびドライアイに関する優れた若手研究者の育成を目的として2005年より開始いたしました。応募対象を過去1年間に国内・海外学術論文に発表した論文とし、最新の優れた研究論文の中から、当研究会世話人による選考委員により、受賞者が選出され、当セミナーの講演にてベストアワードが選出されます。



冷蔵保存した多血小板血漿 (PRP)
点眼の安全性および有効性

演者 順天堂大学医学部眼科学講座 奥村 雄一



慢性GVHDマウスモデルの眼瞼における
血管とマイボーム腺の変化

演者 中山大学孫逸仙記念病院 楊 帆



ドライアイが引き起こす慢性疼痛の
発症メカニズムと治療アプローチ

演者 東邦大学医療センター 大森病院 眼科 鄭 有人



第2部

マイボーム腺機能不全 診療ガイドラインの御紹介

マイボーム腺機能不全(MGD)は様々な原因によってマイボーム腺の機能が瀰漫性に異常をきたした疾患であり、眼不快感などの症状を引き起こす。MGDでは涙液油層の減少からドライアイが発生し、それに伴う症状も起こす。50歳以上の日本人の30-50%程度がMGDであり、MGDは多くの人々のquality of lifeを低下させる臨床的に重要な疾患である。2023年2月にMGDの診療をサポートするためのMGD診療ガイドラインが発表された。本講演では診療ガイドラインの内容を中心に、MGD診療に関するアップデートな内容をお話する。



座長

愛媛県立中央病院眼科
眼科主任部長、総合診療
センター副センター長
山口 昌彦



演者

お茶の水・
井上眼科クリニック
院長
天野 史郎